

【技術の名称】 ウルボン 1275 せん断補強筋の重ね継手	性能証明番号：GBRC 性能証明 第 19-06 号 性能証明発効日：2019 年 7 月 29 日
	【取得者】 高周波熱錬株式会社

【技術の概要】

本技術は、鉄筋コンクリート造部材、鉄骨鉄筋コンクリート造部材のせん断補強筋に用いる PC 鋼棒ウルボンの重ね継手に関する設計、施工法である。

【技術開発の趣旨】

せん断補強筋の形状は、末端を 135° フックとした閉鎖形か、フックを設けずアプセットバット溶接とした閉鎖形が一般的に採用されているが、基礎梁など部材断面が大きくなる場合、標準長さの鉄筋ではこのような閉鎖形のせん断補強筋を形成することができない。本技術はこの課題を解消することを意図して開発され、せん断補強筋に重ね継手を用いることで、標準長さの鉄筋によりせん断補強筋を容易に形成することが可能となる。

【性能証明の内容】

本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する「ウルボン 1275 せん断補強筋の重ね継手 設計施工要領」に従って設計・施工されたせん断補強筋の重ね継手は、同要領で定める長期、短期および終局耐力を有する。

図 1 重ね継手の運用例

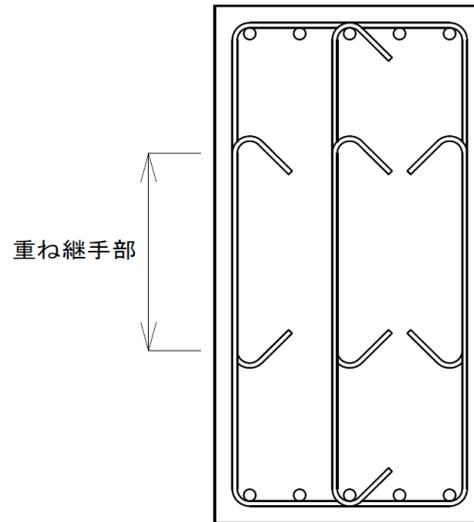


表 1 ウルボンの記号、呼び名および断面形状

種類の記号	呼び名	公称直径 (mm)	公称断面積 (cm ²)	単位質量 (kg/m)
SBPD 1275/1420	U12.6	12.6	1.247	0.978
	U15	14.7	1.697	1.33
	U17	16.5	2.138	1.68

表 2 重ね継手長さ (L)

コンクリート設計基準強度	重ね継手長さ
$24\text{N/mm}^2 \leq F_c < 30\text{N/mm}^2$	50d
$30\text{N/mm}^2 \leq F_c < 39\text{N/mm}^2$	45d
$39\text{N/mm}^2 \leq F_c < 51\text{N/mm}^2$	40d
$51\text{N/mm}^2 \leq F_c \leq 60\text{N/mm}^2$	35d

d：鉄筋径でウルボンの呼び名

【本技術の問合せ先】

高周波熱錬株式会社 担当者：村田 義行
 〒141-8639 東京都品川区東五反田 2-17-1

E-mail：y-murata@k-neturen.co.jp
 TEL：03-3443-5444 FAX：03-5488-7538